
2007

OL用スポーツバッグ

Sports Gym Bags For The Working Woman

AD08 木田 紗綾
指導教員 谷上 欣也

1. 研究目的

駅近のスポーツ施設の増加に伴い、働く女性のスポーツジム通いも増えてきている。しかし、日々仕事に追われている彼女たちは、かさばる荷物や通勤に似合わないビジュアルに不満を抱えながら仕事帰りの時間を利用してスポーツジムに通わなくてはならない。

本研究では働く女性がストレスから解放され、快適にスポーツジムに通うための通勤鞆の提案を行う。

2. 調査と分析

仕事帰りにジムに通う女性が抱えるストレスについて調査した。

調査結果①

多くの女性が使用後の衣類やタオルの湿度的な問題から、通勤用の荷物を収納する鞆と、スポーツジムに通うための鞆を合わせて最低2つ以上持ち歩かなければならないことに不満を抱いている。

調査結果②

周囲に知られること無くスポーツジムに通いたいという女性が多く、スポーツジム用の鞆には撥水性などの機能性よりもデザイン性を重視したものを使用している傾向がある。

調査結果③

鞆を2つ持つことは重量的な面から、女性にとって大きな負担になっていることや、ロッカーに収納する時や電車の中でかさばることが非常に負担である。

これらのことから、通勤用の荷物とスポーツジム用の荷物をまとめて収納できる鞆の必要性を感じた。

3. コンセプトの立案

「2つを1つにまとめて美しく」

鞆を1つにまとめることで、自身に与える負担を軽減することができる。

4. デザイン展開

全体的な外観としては、周囲に知られること無くスポーツジムに通いたいという女性が多いという調査

結果から、いわゆる女性の通勤鞆とされている鞆達からヒントを得たフェミニンなデザインに決定した。

取っ手の長さは肩に鞆をかけた時に、鞆本体が丁度胸部周辺にくる長さにし、さらに鞆本体の後部中央を凹ませることで、体にフィットし、負担を軽減させる。

鞆内部の機能的な面については、撥水性が求められるスポーツジム用品を収納するためのスペースと、通勤時に必要とされる手帳や財布などを収納するスペースをそれぞれ設けた。

かさばりやすいスポーツジム用品を収納するスペースは、鞆内部の両端2箇所分散させることで、荷物の混雑を避けることにした。

鞆内部中央の限られたスペースを通勤時の荷物収納スペースとすることで、必要最低限の荷物を収納するよう誘導し、トータル的な軽量化に繋げる。

鞆の外側には合皮とレザーを組合せて使用し、長期にわたって使用することで変化する質感を楽しむことができるようにした。

鞆の内側のスポーツジム用品収納スペースには、撥水性に優れ、耐久性のあるシルナイロンを使用し、通勤用荷物収納スペースには、耐久性があり、手触りの良いレーヨンを使用した。

強度のある素材を組合せることで衝撃に強い構造にすることが可能となった。

5. 完成図



6. 結論

「荷物がかさばらなくて良い」「外観だけではスポーツ用品が収納されているとはわからない」などのプラスの意見もある中、「やや大きく見える」などの意見もあり、鞆全体のサイズ感や配色によるサイズ感への影響について、検討する必要があると感じた。